

「37th ミーティングに関する報告書」(2004.6.5)

戦略研37th ミーティング レポート

「成功する！ 地域活性ビジネス1 ～問題提起編～」

2004年6月5日(土) 13:30～17:00

東京・新

参加者(18名)

経営コンサルタント、財務コンサルタント、大学教員、大学生、会社員、フリージャーナリスト、株式・経済評論家、IT関連、会社代表、ミニFM局パーソナリティ、行政書士、司法書士、他

発言者 茂木正光さん(戦略研・地域活性プロジェクト)

趣旨

静岡県水窪町の現状と、この町での地域活性ビジネスの成功事例「水窪葬祭」についてです。発言の後、参加者全員参加にてディスカッションを行います。水窪葬祭のさらなる発展のためのアウトプットを目指します。

- 概要
- 1) 会の説明
 - 2) 発言者あいさつ
 - 3) 参加者による近況報告
 - 4) 発言「成功する！ 地域活性ビジネス」

内容

- 1) 会の説明
 - ・ 会の立上げから現在までの沿革について、説明。
- 2) 発言者あいさつ
 - ・ 水窪イメージと、問題提起ができればと。
- 3) 参加者による近況報告
 - ・ トロントへ旅行。市場や、地元の食を回ってくるそれにしても、デブばかり。調理能力が低いのか
 - ・ FM世田谷にて、放送開始
 - ・ 地元の石川県
 - 田舎の生活満足度は上がっている
 - しかし、東京へ行きたい人たちが多い
 - その人たちをとどめたい

- また、地元には産業がないという、思い込み
- ・ 上場企業の財務コンサル案件を行っている
内部統制がとれていない
 - ・ 知識の柱をと考え、中小企業診断士の試験を始めようかと
 - ・ 企業と地域の同一性があると。「内部の問題」ではないか
 - ・ 上場企業、去年営業で攻めてた
決済までにやたら時間がかかる。なので、現在個人へ
 - ・ 資格。ほんとうに役立つものが必要。生き残りをかけて
 - ・ 週刊誌を読み、比較する？、ゼミを行っている
世界でも珍しい出版文化。その中でも、新聞社系を
それにしても、ヨミウリウイークリーはどうか？
 - ・ 社会保障系のジャーナリストでした
政策形成過程には、詳しいです
 - ・ 農業経済の授業で、途上国と先進国のデータをグラフに問題抽出ができて、おもしろい
解決としては、難しいけど、途上国の所得をあげるしかない
日本を参考にできないか
 - ・ 学生メンバー、農水省の食品表示のセミナーへ
MLにレポあげます
 - ・ 学校の危機管理。佐世保の事件に関して
ネットマナーの教育を。できていれば、予防できたかと
これを、具体的事例で教えるプログラムが必要か
 - ・ リースのお話し。賃貸借の商社？
中国進出の企業で、リースを組みました。中国の特殊事情もあったけど、新しいこととおもしろ
かった
 - ・ 三菱自。グループの役員が、メルセデスに乗れなくなったことが三菱自社内で問題になっている
のでは？
三菱自の国内シェアが約5%、三菱グループの人口が約4.9%。
つぶれないね
 - ・ コンサルティング・ファーム。最近、上場するものが出てきた
コンサルのスタンスに変化。株主ばかり向いている
 - ・ ITの売り込み。コンサルをポイントにおいている
 - ・ 化粧品メーカーの工場見学
多品種少量ライン。しかし、不良化率1%
 - ・ 東京砂漠を経験しています
 - ・ 議員インターンシップ団体の代表でした
政治家というフィルターを通して社会を見る
 - ・ 車イスバスケの全国大学連盟を立ち上げました
健常者もメンバーです

道具を使うスポーツの普及という感じ

- ・ 福祉教育には疑問
WIN WINになっていない
- ・ 最近、若さで売るのもどうなのか？とか
ちよい社長っぽくなるようにしています
- ・ 人手不足。人件費と売上げとのジレンマ
- ・ プライヴァシーマーク取得の講座、受けてきました
会社の信用度UPにつながればと。コストを兼ね合いしつつ
→セキュリティの中身・運用が重要
→コンサル案件につなげられないか
- ・ 情報漏洩は、お客様相談室からというお話しも
アクセス制限と、ログの通知という対策が必要

4) 発言

「成功する！ コミュニティビジネス1 ～問題提起編～」
の資料を配布

また、

- ・ 水窪葬祭資料。企業理念。平成15年決算、貸借対照表。
- ・ 水窪NPO「街づくりネットワーク」資料

なども

1. 地域活性化とは？

・ 地域とは？

単に田舎とかいう意味でなく、都会においても、茂木が住んでいる、板橋区、その中の「南町」
はやはり「地域」であるという定義の仕方

あるいは、東京も、中央の政府（霞ヶ関）からみれば、「地域」である

・ 活性化とは？

単に観光地化をする、企業誘致をするということではなく。その地域に住む人々にあったサービス
が行えること

また、中山間過疎地という地域においては、そこで、ヒト、モノ、カネ、そして情報が循環し、
そしてこの循環により、自立することであるという定義の仕方

さらには、外部との交流、外部からの吸収が必要となる

・そして、地域活性ビジネスとは？

ある地域において、ヒト、モノ、カネ、そして情報の循環を中心に据えたビジネス
無償・ボランティア的なものでなく、カネを継続的に回し、地域に関しての長期的視点を持つビ
ジネス
ポイントは、地域内部におけるコミュニケーションと、地域の外部とのコミュニケーションが必
要となること。

具体例として、大阪・中崎町の商店街の取組みが挙げられました。

2. 水窪（みさくぼ）地域の現状

・地域イメージ

地理的なイメージから。静岡県の西北部。長野県、愛知県と接する。
静岡、「海」という感じですが。山間の町。
東京から電車だと、新幹線から、さらに遠州鉄道・遠州バス、あるいは、飯田線を乗り換えてい
くしかない。
かなり時間がかかる。

町は、ほとんどが森林。ごく一部の川沿いの平坦な土地に、中心地が存在する。ここに役場や商
店街がある。

残りは、10世帯とかの集落が、山の中に点在する。

ただ、平坦と行っても、かなり狭く、V字の底に、町が存在している。
ちなみに、町周辺の杉が若く、山崩れの可能性があるとか。

ある学生は、「山、そして森林の中に、こつぜんと（良くあるような）町が現れた」との感想を。

・産業

町の基幹産業であった、林業は、壊滅的に衰退。
売れば売るほど、赤字。
外材にコスト面で太刀打ちできない。
また、工場の海外移転の流れから、静岡などの自動車産業の下請けも打撃を受けている。

具体的には、

80人雇用の工場の閉鎖や、90人雇用の工場の段階的海外への移転など。

そして、もう一つの雇用媒体である町役場も、合併後には、(転勤などで)その職員数が大幅に減
少することが考えられる。

2003年産業人口比率

1次	10.2%
2次	43.9%
3次	45.9%

なお、人口3500人の町であるが、その交通の不便さから。

(国道152号が走るが、一部1車線のところもあり、かなりワインディングしていて、地元のドライバーでないと、きつい)

また、人口の集中地があることから、50～60軒にて商店街を構成している。若干高かったとしても、住民はたいがいこの商店街で購入している。

(隣町・佐久間町からも、水窪町近辺の住民は、この商店街に買い物に来るとか)

・人口動態

毎年、100人ずつ減少。60人が死亡にて、40人が若年者などの地域外就職とか。

幻となった佐久間町との合併協議会資料によると、統計的に、35年後には、町は消滅するとか。

茂木が初めて行った頃(6年前)は、4000人を切るか切らないかだった。

最近の工場の閉鎖や、今後の合併による町役場の規模縮から、人口減少は、さらに加速すると予想される。

平成16年3月31日現在 3509人

2003年度人口分布

3613人	増減率	-2.17%
0-14		9.2%
15-24		8.6%
25-64		44.0%
65-		38.1%
世帯数		1335世帯

高齢化率、38.1%!。また、その予備軍も控えているのがわかる。

参考比較) 東京都板橋区

506732人	増減率	0.68%
0-14		11.5%

15-24	11.8%
25-64	59.5%
65-	17.2%

板橋区は、今後も微増が続く（外国人居住者の増加というお話しも）。

ただし、人口分布はかなり変わる。

0-14はほぼ横ばいだが、15-64が大幅に減り、その分、65-が増えていく。

・・・つまり、水窪は、人口の考察的に、将来の日本の姿であるといえる。

※ ここで、閑話休題。戦略研・地域活性化プロジェクトの取組みと、大学・大学生との連携について。

いままでの流れと、実績につき。

大学生による「まちおこしプラン」（ヒト、カネがなく、交通不便という制約あり）は、2年前から（今年も始まっています）。

町長自宅にて、貼り出しを行い、徐々にではあるが、住民に認知されてきている。

3. 市町村合併

・ 幻の佐久間町との合併協議

数年前より、合併協議が行われていた。

しかし、田舎って、隣の地域とは仲があまり良くない。

また、

佐久間町も、昭和の大合併によりできた町ですが、

水窪のような中心地がなく、

いまも集落単位にて、町としての融和は進んでいないというお話しも

なもので、かなり消極的な感じでした。

・ 12市町村合併

しかし、昨年統一地方選、浜松市長選にて、現職市長（再選）

が、突然、天竜川・環浜名湖の13市町村合併構想を

公約にしたため、状況は一変（新居町は脱退）。

当初反対するかと思われていた、天竜市長が乗り気になったこともあり、一気に12市町村合併に。

また、ほとんどの市町村にて（水窪も含めて）、何より住民の大半がこの合併に乗り気。

- ・・・やっぱり、浜松市におんぶにだっこが一番に～とか。
- ・・・浜松のアクトシティが、自分たちのものになるら～とか。

なもので、来年前半には、新「浜松市」が誕生。

・合併の影響

この12市町村合併、水窪住民にとっては打撃といってもよい影響を与えるのではないかと予想される。

浜松市まで、車で2時間近く。つまり、もっとも浜松市の中心から、遠い地域になる。

行政サービスは、はたしていままで通りのものが受けられるのだろうか？

そして、水窪も、さらに中心地以外のさらに山深い地域は、はたして、新浜松市に憶えていてもらえるだろうか？

また、役場の規模縮小から、水窪町での雇用媒体がまた一つ減ることに。

これは、かろうじて生き残っている商店街にも影響を及ぼす。

つまり、行政のサービスだけでなく、民間のサービスも著しく低下する可能性が高いわけである。

4. コミュニティビジネス「水窪葬祭」。そして、水窪NPO

・水窪葬祭の軌跡

ここで、3年前より、戦略研メンバーも含む水窪の若手有志による、「水窪住民の、水窪住民による、水窪住民のための」ビジネスが立ち上がった。

それが、水窪葬祭である。

かなり、ベンチャー的な要素がありました。

葬儀については、立上げメンバーも皆、素人。

しかし、それまで葬儀を独占していた、農協では、葬儀のお返し（引き物）を、水窪外の業者から買うなど、水窪のカネが流出していく現状を変えたいとの思い。

そこで、水窪の商店街と提携し、若干高めの値段でも、水窪の商店街を利用して、水窪のカネがさらに、水窪の中で循環する仕組みを企画。

（ただし、初めは、商店街にまったく理解してもらえなかった）

また、本来、葬儀屋の利益率は4割程度のところ、水窪葬祭では、水窪の地域のためのビジネスということで、利益率を1割に。

そして、この立上げは、水窪住民に理解され、1年を経つ頃には、農協は、葬儀部門を撤退することになり、水窪葬祭は、水窪における葬儀等の100%のシェアをおさえることとなったのである。

(水窪葬祭の貸借対照表や損益計算書を裏づけとして)

・・・ここには、10何年、水窪を離れ、そして、水窪に戻ってきたとき、あまりの衰退の状況に、「このまま出て行くか」、それとも、「やれるだけのことをやるか」の選択で、後者を選んだ男の思いがあった。

・水窪NPOの立上げ

そして、水窪葬祭の財務的な発展、安定から。

このような地域におけるビジネスの立上げをサポートするために、水窪NPO「街づくりネットワーク」が立ち上がることに。

このNPOは、地域外との交流の受け皿の意味も。

・・・NPO理事長の言葉。「たしかに、水窪地域で、100人を雇用するような企業の立上げは難しいかもしれませんが。しかし、水窪葬祭のように小規模であっても、住民に対するサービスとして受け入れられるものはあるわけです。ですので、10人を雇用する規模の企業としても、そのような企業の数を増やしていきたいのです」とのこと。

・そして・・・

水窪葬祭に関する問題抽出ディスカッションとなりました。

「現在、水窪葬祭は、財務的には成功と呼べる状態となりました。しかし、経営的、運営的には、どうしても人手、安定的な、責任を持ってくれる人手が足りません。また、葬儀以外のサービスや、水窪葬祭のさらなる展開も必要と考えます。良い、具体的なアイデアはないでしょうか？」

(補足)

雇用を生み出しているが、パートについても、安定感に足りないときが人手不足。とくに、経営者というか、現場責任者において新規事業のアイデアはあるが、体は一つなんですよねえ

平成16年決算。6000万円～7000万円の売上を予想

ただし、これがピーク。また、あと20年はこの数値を維持できそう

(ブレスト)

サービスのゆりかご化

誕生から死亡まで

介護サービスなど、高齢者をサービスの対象とするものの拡充

商店街とのパートナー関係をさらに深められるようなもの

フランチャイズ展開

大学生のインターンシップ。8月、新盆の時期とか？

地域でお金を循環させる仕組みとの兼ね合いが必要

外部からの雇用だと趣旨に反するか？

葬儀に関する組織化はできないか。地元での。葬儀団など

・・・なお、地元の組合があるが、こちらも人数減少から

衰退が現状

人を外に出すけど、外から戻ってこられる仕組みを作る

インセンティブ次第（カネ。そして、それ以上のもの）

業務内容の掘り出しと、細分化が必要

適正人数は？

バイト。地元の学生（高校生）などはどうか

広く人材を育てる仕組み

撤退した工場の従業員は、雇用できないか？

※ 今回まとめとして、次回7/3は、問題解決編を行います。

(水窪葬祭の価値最大化のためのアウトプットを目標)